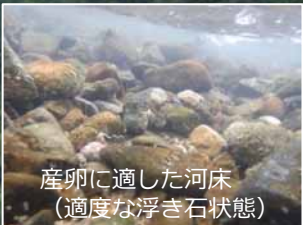


人と河川との関わりの保全・再生・創出 ～地域との連携～

Keywords : アユの産卵場造成実験, 貴重種の保全, 人材育成

取組事例1

アユの産卵場造成実験



産卵に適した河床
 (適度な浮き石状態)



- 近年日本海側におけるアユの遡上数が激減している。
- レーキなどにより河床を耕し、産卵場を造成しています。
- その後、産卵が確認されました。



アユの卵

取組事例2

フジバカマ保全活動

※兵庫県版レッドリストAランク



飛来したアサギマダラ



地元関係者との移植作業

- 護岸工事の影響を受ける場所に自生していたフジバカマを株分けし、リスク分散(種子確保)のため、加陽湿地に移植しています。
- 渡りをするアサギマダラをはじめ多くの昆虫が蜜も求めて集まります。

取組事例3

加陽湿地モニタリング



- 整備後の湿地環境を小学校と連携してモニタリングしています。
- 事前勉強会のあとに現地調査を行うことで、効果的な学習が可能となります。

取組事例4

カワラハハコ保全活動

※兵庫県版レッドリストBランク



- 円山川に生育するカワラハハコは、近年減少しています。
- リスク分散(種子確保)のため、小学校の校庭に移植しました。合わせて、礫河原への移植や播種も行っています。



採取した種から育てたポット苗

円山川水系自然再生計画では、目標のひとつに「人と河川との関わりの保全・再生・創出」を位置づけています。地元の小学生、住民、漁業関係者、学識者、大学生、高校生、自治体などと一緒に、さまざまな取組を行うことで、地域や学校が一体となった協働体制・システムの構築(地域との連携)を目指しています。